

学校教育目標

学び 伸びる

〈1年生の終わりまでに育てほしい児童の姿〉

いろいろな人との関わりの中で、自分のよさ、友だちのよさを多面的に見ることができ、自分の思いや考えを伝え、友だちの考えを最後まで聞く子

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
育てほしい児童の姿	<p><b>入学当初の児童の姿</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○生活に必要な習慣や態度を身に付け、できることは、自分でやっている。</li> <li>○共通の遊びを通して、友だちとよさに気付いている。</li> <li>○経験したことや感じたことを自分の言葉で話したり伝えたりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校生活・集団生活の約束を知り、自分のこと、身の回りのことを自分でやりきろうとする。</li> <li>・先生や友だちとあいさつや自己紹介を通して、進んで仲よくなろう</li> <li>・話している人の方を向いて話を聴こうとする。</li> <li>・やってみたくて主体的に学習に取り組もうとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校生活の流れをつかみ、集団生活での約束を守ろうとする。</li> <li>・場に応じたあいさつをする。</li> <li>・自分のめあてを持ち、ゴールに向かって継続して取り組む。</li> <li>・自分の気持ちを話したり、相手の気持ちに気付いたりする。</li> <li>・友だちのよさやがんばりに気付く。</li> <li>・先生や友だちの話を読み、自分の思いや考えを話す。</li> <li>・学習したことや経験したことをペアで話し合ったり、3文程度で表現したりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分のことは自分です。</li> <li>・自分たちを支えてくださった上級生や地域の方々に感謝の気持ちを伝えようとする。</li> <li>・自分のよさ、友だちのよさに気付き、お互いのよさを認め合う。</li> <li>・みんなで学習することの楽しさや表現することの楽しさを知り、新しい自分を作り出す。</li> </ul>	<p><b>創造</b> 今までになかった新しい自分を作り出す子ども</p> <p><b>協働</b> みんなで力を合わせて同じ目標に向かって進んでいく子ども</p>							
主な学習活動	<p>「がっこうとなかよし」 生活「がっこうとなかよくなるう」 国語「さあはじめよう」 算数「かずやかたちでたのしく」 図工「わくわくどきどきをみつけよう」 体育「固定遊具を使った運動遊び」 道徳「あかるいあいさつ」 学活「はじめての小学校」 「楽しい給食」</p>	<p>「ともだちとなかよし」 生活「ともだちとなかよくなるう」 国語「さあはじめよう」 算数「10までの数」 音楽「歌って踊ってなかよくなるう」 図工「砂や土となかよし」 体育「リズム遊び」 道徳「はりきり1年生」 学活「小学校のきまり」</p>	<p>「見つけたこと わかったことを伝えよう」 生活「さいばい はなやさい おおきくなってね」 国語「わけを話そう」 「大きくなった」 「好きなことなあに」 算数「いくつといくつ」 音楽「拍にのってリズムを打とう」 図工「せんせいあのね」</p>	<p>「みんなにここに①」 国語「かたかなをみつけよう」 (かたかな集め・ひらがな集め) 算数「たし算」「ひき算」 (こぶたのぎんこう・スネイク) 生活「秋のテーマパーク」</p>	<p>「みんなにここに②」 国語「ものの名前」 (数詞カード) 算数「たし算とひき算」 (スネイク) 音楽「日本の歌を楽しもう」</p>							
環境構成(人・もの・こと等)	<p>学校生活の環境構成</p> <p>【人】 教員も児童と一緒に活動を楽しむ。肯定的な声掛け。必要に応じた個別支援。児童の関わりが増えるような遊びや学習を多く取り入れる。給食、掃除等必要に応じて6年生に見守ってもらえるよう連携をはかる。</p> <p>【もの】 活動の流れ、整理整頓、順番、時間など言葉や絵を用いる。(視覚支援)園所で慣れ親しんだ遊びができるように太陽の広場にコーナーを作る。休憩時間に安全に遊べるように遊具の使い方を指導する。</p> <p>【こと】 遊びの時間を設け、安心して過ごす基盤を作る。生活科を中心に合科的・関連的な指導を行う。園所や他教科での学びや経験を生かした授業づくり。学んだことが他教科や生活場面、次の学習に活かせるような工夫。</p>			<p>学習での環境構成</p> <p>【人】 ペアやグループ学習を意図的に取り入れ、児童同士の関わりを深めていく。生活科を中心に、地域の人々やもの、こども園との関わりを増やしていく。自己の成長が自覚できるように成果物をファイルに綴じていく。</p> <p>【もの】 児童が興味関心を持つことのできるICTの活用。板書の構造化。具体物の活用。</p> <p>【こと】 学習の区切りを意識させ、時計を見て行動ができるようにする。自分の目標を振り返ることで、自身の成長が自覚できるようにする。自分たちの進級や新入生の入学を楽しみにできるようにする。</p>								
園・所との連携	4月(小学校) 1年生授業参観	4月 連絡協議会	8月(こども園) 保育参観	10月 児童・園児交流	2月 入学説明会 児童園児交流	2月 連絡協議会 まとめ・来年度計画	3月 年長児の実態把握					
組織との連携	地域ボランティア・PTA 登下校の見守り			地域ボランティア・PTA 登下校の見守り			地域ボランティア・PTA 登下校の見守り					
家庭との連携	4月 畑の先生 畑の耕し	図書ボランティア		学年通信 月に1回程度発行 児童の様子、取り組みを伝える。			学年通信 月に1回程度発行 児童の様子、取り組みを伝える。					
	入学式(スタートカリキュラム取組み説明)		参観日・学級懇談(学校の取組み・児童の様子の交流を行う。)			入学説明会(スタートカリキュラム趣旨説明)						

